

## 令和5年度 第1回施設運営協力委員会記録

日時：令和5年11月30日(木) 10:30～12:00

場所：ネイパル北見第1研修室

出席者：全委員

佐藤委員、熊木委員、伊藤委員、湯浅委員、佐藤委員、加藤委員、歌丸委員、梅津委員、我妻委員  
福田理事、加茂所長、風間社会教育主幹 計11名

## 議事

○令和5年度施設運営及び主催事業報告について(第2四半期まで)

## ①利用者状況について

・令和5年4月～第2四半期までの、利用状況の説明。5類への移行もあり、利用者数は、平成30年度の7割位まで戻りつつある。また、それに伴い利用料変更による収入もアップしている。

## ②主催事業状況について(別添報告書添付)

・現在の参加者充足率は管理目標の90%を上回っており、残り事業でも維持できるような広報や事業を展開していく。第2四半期までの事業報告は別添参照下さい。

## ③アウトリーチ事業について

・ここまで、様々な団体から要望をいただき、色々なテーマで職員を派遣している。また、地域との連携協働についても、積極的にかわり、施設内外で連携を強めている。

## ④利用者満足度について

・全体的には、高い評価をいただいているが、食事料金アップの影響もあり、食事内容・料金の2項目については、それぞれ過去のパーセンテージから落ちている。

## 【委員からの質問、意見など】

・アウトリーチ事業でのシニア向けの内容は？(A委員)

→時間にもよりますが、主にコミュニケーショントレーニングやレクレーション交流、ニュースポーツ等が多いです。

・施設保全検査から、老朽化に対応する計画や今後について？(B委員)

→現在、砂川が長期寿命化工事で休館している。引き続き道にお願いしているが、現状はあり方検討や長寿命化の予算もあり、進んでいない。工事をする場合でも2~3

・利用料金はどれぐらいアップしたのか？(C委員)

→昨年度料金から100円アップしているが、アンケートからもその影響がうかがえる。

・外で食事する割合は全体のどれぐらいか？(D委員)

→全体の10%くらい。団体としては、家族が多い。また、カーリングの団体も試合の関係で、食事をしないケースがほとんど。

・食堂業者が撤退した後の対応は？(E委員)

→現在、委託・直営含め探しているが、大手への委託は厳しい。委託金を支払ったと

しても、採算が合わない状況であれば受けない。直営で行う事も想定しているが、地元には人がいない為、北見・網走方面へ広げて、今後は採用等も検討している。

・利用者満足度を、他の施設と比較した場合の、分析は？（F 委員）

→食事関係が若干低い（76%）のを除けば、他の所ではそんな色ないと思う。いずれにしても、他施設と情報交換をしながら、改善できるところは実施していく。

**F 委員**：食事料金の満足度で、子供たちからは、美味しかった等聞いている。回答している先生は給食と比較しているためか、低いのかもかもしれない。

・ネイパル北見の良さは、野外炊飯である。今年度本校(T中)で実施し、子どもたちも生き生きしていて、とても良い活動になった。施設の野外炊飯活動はどんな状況か？

（E 委員）

→野外炊飯を実施しない学校も結構あり、コロナ渦で実施していないこともあり、通常の食堂食利用も多い。

・E 委員：手間のかかることを避ける傾向にあり、働き改革や若い人の価値感の変化が見られ、野外炊飯が減っているのかもしれないですね。北見の特徴でもあるので、利用増につなげて行ってほしいです。

・B 委員：常呂には、遺跡の森もあり、遺跡ブームも来ている。映える物が求められているので、縄文クッキングや原始炊事なども面白いのでは。

#### ○情報提供

・新聞記事で取り上げられた内容について説明。大型スポーツイベントで施設利用。継続して予約がある。新聞等での施設 PR も兼ねてよい。SUP の認知度も高まりつつあり、今後も増えると思う。北見市も観光プロモーションで動画を撮影していることもあり、サロマ湖での SUP 体験の認知度が増えると思う。

・建築保全検査等による施設建物の現状報告説明

・情報発信を社会教育課（YouTube）で積極的に実施している。

・食堂運営に関して、現在の業者が R6 年 3 月末で撤退する旨の報告と状況

・道青少年教育施設協議会での研修内容について話題提供。指定管理料 0 円で運営している NPO 法人千葉自然学校について紹介。

・所長会議より、利用料金の条例変更について現在討議している。

#### ○事務局より

・次回の開催は、3 月を予定している。

以上